

第1号議案

資料（1）

平成26年度 事業報告（案）

本部（事務局）

障害者支援施設 いくせい

多機能型事業所 よこがわ

広島市東部障害者デイサービスセンター

広島市西部障害者デイサービスセンター

就労継続支援B型 上安作業所

多機能型事業所 広島作業所

広島市就労支援センター

平成26年度 事業報告

育成会本部

I 活動の概要

知的障害のある人たちが人としての尊厳と権利が守られ、地域の中で安心して、豊かな人生を歩むことが会員の願いである。さまざまな問題の解決と安心できる未来に向かって、確実な施策の実施を期待し、願いや思いを、手をつなぐ育成会の全国大会や中国四国大会、県大会で決議文を通して訴えてきた。また、会報、育成会だより、ホームページ等を通し、様々な情報を提供してきた。支部活動、委員会活動、研修会等を通じて、お互いの意見交換をする中で会員のつながりの強化を図り、会員拡充に努めた。

本部配置の事務職員についても、より効率化を図り、充実した組織づくりに取り組んできた。

1 障害者が地域で生きる権利の保障

障害のある人、ない人、全ての人共生し、普通に暮らせる社会の形成を目指して、要望活動、支部活動、障害子ども会活動、青年活動、レクレーション活動等に取り組んできた。地道な取組・行動の積み重ねの中でその成果が現れると考えるが、マンネリ化することなく活動の見直しも必要と思われる。

発達障害支援事業によるサポートファイルに関する研修会の関心も高く、どの会場も盛況であった。保護者のニーズにマッチした企画であったため、研修会をとおして、新たな会員を確保したり、知的障害者理解啓発運動として結成した「あび隊」の活躍もあり、育成会活動を理解してもらうよい機会になった。

2 会員の拡大と組織の強化

年度	親の会	施設親の会	学校親の会	民生・児童委員 退職校長会	育成会職員	市民
19	536	164	396	264	78	5
20	542	170	559	174	79	1
21	555	141	676	220	84	3
22	727	99	765	212	70	16
23	733	116	803	253	111	6
24	762	125	824	193	121	4
25	802	143	770	231	118	1
26	794	140	788	282	88	1

3 組織の見直し

組織の強化を図るために、組織図の見直しを図った。第三者委員会、企画運営委員会、将来構想委員会を、組織図に位置づけた。理事会、評議員会を経て、会長のもとに副会長・常務

理事・各施設長、事務局長をメンバーとする定例の経営委員会（財務・企画・人事）では、毎月の各事業所の経営状況、課題等について報告、協議を行ってきた。

将来構想委員会、企画運営委員会も隔月開催も定着し、企画運営委員会では、事業所毎に異なっていた封筒を統一した。

II 会務の運営

1 理事・評議員会

評議員会 理事会	平成 26 年 5 月 22 日	平成 25 年度事業報告 平成 25 年度会計決算報告 給与規程の一部変更について
評議員会 理事会	平成 26 年 8 月 20 日	評議員・理事・監事の選任について
評議員会 理事会	平成 26 年 8 月 22 日	会長・副会長・常務理事の互選、及び監事の選任について 会長・副会長・常務理事の承認について
評議員会 理事会	平成 26 年 11 月 26 日	広島作業所改修工事に係る請負契約の締結について 広島作業所改修工事に係る補正予算案について 市育成会組織図の改正について

2 監事監査

3 月 17 日に事業運営について、5 月 7 日、8 日に各事業所毎に事業運営及び決算についての監事監査を行った。

3 支部長会

年 6 回開催。各支部・委員会の活動状況や課題等を報告し、情報交換に努めた。

4 各種委員会

委員会ごとに、年間計画に基づいた活動を展開した。

III 社会福祉事業

- 1 障害者支援施設いくせい
- 2 広島作業所（多機能型 就労継続支援 A 型、B 型）
- 3 育成会上安作業所（就労継続支援 B 型）
- 4 多機能型事業所よこがわ（多機能型 就労継続支援 B 型、生活介護）
- 5 短期入所よこがわ
- 6 広島市西部障害者デイサービスセンター（生活介護）
- 7 広島市東部障害者デイサービスセンター（生活介護）
- 8 グループホーム（よこがわ・つるみ・しんぐうえん）

IV 公益事業

1 広島市就労支援センター

広島市内の就労支援施設における仕事の受注拡大や製品の販路開拓・新商品の開発等を図った。

2 清掃事業

広島作業所での清掃事業としては以下の表の通り 8 か所を行ってきた。発注先の清掃事業内容の見直しが毎年なされ、委託料は年々減少している中、体制の見直しを迫られる状況が生じている。また、清掃職員の加齢に伴う作業効率の低下の問題を含め、若返りの方策を検討する必要がある。

受託先	契約方法	受託場所
社会福祉事業団	特命随意	皆賀園、心身障害者福祉センター、西部こども療育センター 北部こども療育センター
広島市スポーツ協会	特命随意	広域公園
三栄産業		佐伯運動公園
その他		西部障害者デイサービスセンター、東部障害者デイサービスセンター

3 職業自立訓練事業

年間を通して訓練をおこない 1 名が一般就労には至った。また、5 名中 3 名が就労継続支援事業へ就職した。

4 生活自立訓練事業

本年度は、初級 20 名で訓練を開始した。この事業の目的は「本人の自立に向けた訓練」である。日頃からはなかなかできない体験ができ、修了後、生活に対する意識の変化が見られたと好評だった。

5 レクリエーション教室事業

各支部で、文化・スポーツ委員会を中心に 12 回開催した。ミニテニス教室・料理教室・フットサル教室・工作教室・エアロビクス・コーラス・フライングディスク教室・ストレッチ教室・和紙で干支作り等々が行われ、延べ 251 人の参加があった。

6 サポートファイルの説明会実施業務

年間 6 回、計 69 名の参加を得て、サポートファイルの書き方や活用方法などの説明を行った。

7 広島市立広島特別支援学校放課後対策事業及びいきいき活動事業

放課後対策事業は、新年度を 5 月 7 日より開始。利用登録者数 40 人、年間開催日数 181 日、年間延べ利用者数 1588 人、年間延べ看護師指導者数 1877 人。いきいき活動事業(土曜日)は、新年度を 5 月 17 日より開始。いきいき活動事業(長期休暇)は 7 月 22 日より開始。利用登録者数 40 人、年間開催日数 61 日、年間延べ利用者数 549 人、年間延べ看護師指導者数 550

人。利用者・保護者から、「教室」が楽しみで癒しの場になっていると好評を得ている。

8 家庭教育学級

会員の意見をもとに研修テーマを設定し、講師を招聘して6回の研修会を開催した。毎回平均50名の参加があり、年間延べ306人の参加があった。

6月30日(月)	学校生活の充実について
7月7日(月)	制度の変更について
9月12日(金)	人権学習 ー成年後見ー
10月21日(水)	子どもの発達支援「音楽療法について」
11月25日(火)	余暇の過ごし方
1月29日(木)	自閉症児者の支援について

9 障害者110番事業

知的障害者42件、身体障害者26件、精神障害者76件、特定の精神障害者22件の相談を受けた。その内容は、日常生活に関することが中心であった。

弁護士相談は12回、のべ19件の相談が寄せられた。成年後見、遺産相続（生前贈与、遺言証書も含む）に関する内容であった。

平成 26 年度 障害者支援施設いくせい 事業報告

1 はじめに

障害者支援施設いくせいの基本理念、基本方針に基づいて計画された平成 26 年度事業計画に則り、以下の事業を実施した。

2 利用者の状況

① 利用者の利用状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男性	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	25	25	
女性	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
計	50	50	50	50	50	50	50	49	49	49	50	50	
入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
退所者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

② 年齢構成（平成 27 年 3 月 31 日現在）

年齢	20 歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計
男性			2	6	6	1	2	3	4	1	25
女性		0	5	4	4	3	4	1	2	2	25
計		0	7	10	10	4	6	4	6	3	50

平均年齢 男性 47.3 歳 女性 46.2 歳 利用者全体 46.8 歳

③ 障害の状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㉠	A	㉡	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男性	2	20	3		25			1			1
女性	4	14	7		25	2				1	3
計	6	34	10		50	2		1		1	4

④ 障害程度区分の状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性				2	12	11	25
女性			2	7	9	7	25
計			2	9	21	18	50

3 職員の状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

職名	人員	職名	人員	職名	人員	職名	人員
施設長	1	生活支援員	14	看護師	1	講師（創作活動）	7
嘱託医師	1	嘱託生活支援員	5	栄養士	1	相談支援専門員	3
副所長兼生活支援員	1	生活支援員（派遣）	3	事務員	2	理学療法士	1
主任生活支援員	2	生活支援員（休職中）	1	調理員	委託		

常勤者 28 名

施設長	1
副所長兼生活支援員	1
主任生活支援員	2
生活支援員	14
嘱託生活支援員	5
生活支援員（派遣）	2
看護師	1
栄養士	1
事務員	2
相談支援専門員	3

非常勤者 6 名

嘱託医師	1
理学療法士	1
講師（創作活動）	7
生活支援員（派遣）	1

4 活動の状況

利用者の活動は、次の五つに分類された内容である。利用者の希望、体力や機能の実態、保護者の希望等に基づいて、行った。また、ミュージックは全員参加を基本とし、その他の創作活動は、利用者の希望に沿って選択するようにした。アートで作られた作品は、育成会祭りやその他の展示会で発表した。

日常生活に関する内容、健康に関する内容、作業に関する内容は、原則利用者全員が参加した。クラブ活動としては、音楽、生け花、書道などの活動を行った。

また、グループ外出では、横川近辺等での日用品の買物、散歩、飲食等や、JRなどの公共交通機関を利用し、アルパークや広島駅まで行き、飲食や買い物等を行った。

○活動について

① 創作活動に関する内容

活動内容	実施日	指導者
アート	毎月第 2・4 木曜日午前	外部講師
さをり	毎月第 2・4 火曜日午前	外部講師

② 健康維持・情緒安定に関する内容

活動内容	実施日	指導者
レクリエーション	毎月第1・3水曜日午前	外部講師
ミュージック	毎月第1・3金曜日午前	外部講師
D&D (ダンス)	毎月第2・4水曜日午前	いくせい職員
ヘルス	毎週月曜日その他の午前	散歩、フィットネス等

③ 労働（作業）に関する内容

活動内容	実施日	備考
ワーク	毎週火・木曜日	空き缶つぶし作業

④ 館外活動について

活動内容	実施日	備考
グループ外出支援	毎週木曜日午後	横川近辺で日用品等の購入、買物、飲食など

⑤ 余暇活動

活動内容	実施日	指導者
音楽クラブ	毎月一回土曜日午後	外部ボランティア
生け花クラブ	毎月一回	外部ボランティア
書道	毎月一回土曜日午後	保護者

5 日課

	月・水・金曜日	火・木曜日	土・日曜日
7:00	起床・洗面・更衣・身辺整理		
8:00	朝食・歯磨き・服薬		
9:30	朝の会		
10:30	午前の活動		自主活動
11:30	昼食準備		
11:45	昼食・歯磨き・服薬		
13:30	入浴	午後の活動	入浴（日）・自主活動
15:30	おやつ		
18:00	夕食・歯磨き・服薬		
	自主活動		
21:30	就寝準備		
22:00	消灯・就寝		

6 行事

行事は、生活に変化を与え、体験の幅を広げるため計画的に実施した。

月	施設内行事	施設外行事	スポーツ大会等への参加
4月		花見（広島市森林公園） 誕生日外食	
5月		誕生日外食	広島市陸上競技大会 ボウリング大会
6月			
7月	七夕	誕生日外食	
8月	夏祭り	誕生日外食	
9月	長寿を祝う会 育成会祭り	誕生日外食	
10月	日産労連人形劇鑑賞		
11月		誕生日外食	
12月	クリスマス会 忘年会	ドリミネーション見学 誕生日外食	
1月	開所記念行事	誕生日外食	
2月	節分	誕生日外食	卓球大会
3月	ひな祭り、送別会	誕生日外食	

1 1月にバスハイクを行う予定だったが、病休等で職員数が少なかったため実施できなかった。

7 利用者個別支援計画について

① 個別懇談の実施

毎年年度末に利用者・保護者と、個別懇談を行い、いくせいにおける活動、生活等について、希望等を聞き取り、この意向に基づいて、個別支援計画を作成している。

② 個別支援計画の作成及び見直し

3月 その年度の個別支援計画のまとめと次年度の個別支援計画を、利用者と保護者等に提示する。

9月 中間期のまとめを提出し、必要において、個別支援計画の見直しを行う。

3月 個別懇談を行い、今年度の個別支援計画について利用者・保護者の思いや要望を聞き取り、年度のまとめと次年度の個別支援計画を作成した。そして、今年度最後の保護者会で、今年度のまとめと次年度の個別支援計画を提出した。

7 健康・安全管理

① 健康について

年間2回の健康診断、月に2回の健康相談（嘱託医）と、看護師や生活支援員等による日常の健康観察により、疾病等の予防に重点を置いて、利用者の健康管理を行った。

日々、ふだんと違う状態があれば、受診した。精神科の診療については、それぞれの利用者の主治医に受診した。生活習慣病検診についても、保護者と相談しながら、可能なかぎり検診を受けた。

歯科については、訪問歯科を中心とし、必要な治療とあわせて予防のための診療を行った。

看護師、栄養士、生活支援員と厨房の委託業者による保健給食委員会を2カ月に1回開催し、食事や保健衛生面について利用者に関わる内容を検討した。また、嘱託医など専門家の助言を受け、利用者や職員の健康増進に努めた。

飲料水や入浴関係については、清掃、点検、検査等を法定通り実施した。貯水槽や高架水槽の清掃、点検、検査等も定期的実施した。また、厨房等の清掃や館内の消毒等も定期的実施している。普段から、利用者の居室の清掃に心がけ、衛生管理に努めている。

② 栄養ケアマネジメントについて

利用者一人ひとりの栄養改善や食生活の質の向上のために、栄養ケアマネジメントを行い、個々人に最適な栄養ケアを提供するようにした。

③ 機能の維持について

理学療法士の指導により、身体機能の維持、安全で心地よい介護・支援を行えるように取り組んだ。毎月2回から3回、理学療法士による機能訓練の時間を持ち、その中で職員も指導を受けた。

④ 安全管理

火災や地震を想定した昼間や夜間のいくせいのみの避難訓練を実施するとともに、全館の総合避難訓練・消火訓練を実施して災害時への備えを行っている。総合訓練時には、西消防署の指導を受け、訓練の質の向上に努めている。

施設内の安全を確保するため、毎月1回安全点検を行い、施設や車輛の整備を行なっている。また、環境整備については、必要に応じその都度行なっている。館内の消防設備、エレベーターは、法定点検を行い、安全の確保に努めている。

⑤ 保健衛生・安全に関わる事業等

- 利用者健康診断（年2回）
- 職員健康診断
- 歯磨き支援
- 厨房等の清掃、消毒
- 各種法定点検（飲料水関係、浴槽水関係、消防設備、エレベーター）
- 各種点検（電機関係、ボイラー）
- 嘱託医による健康相談（月に2回）
- 体温測定（毎日）
- 居室等の大掃除、館内消毒
- 体重測定（毎月）

8 諸会議

いくせいでは、次のような会議を開催し、利用者の体力維持や笑顔が出る生活ができるように努めている。

- 職員会議（毎月1回）
- ケース会議（毎月1回）
- 主任会（必要に応じて概ね月に1回）
- 各担当者会
- 各種委員会（活動支援、保健給食、安全管理、生活支援、倫理綱領）

9 短期入所事業（ショートステイ）

家庭の状況により、在宅で生活できない障害児者を一時的に受け入れ、生活を支援するように努めている。

平成 26 年度は、下の表のような利用があり、在宅の障害児者の福祉の向上に繋がったと考えている。

利用者総数が、2,059 名（延べ人数）となり、1 日平均 5.64 人となっている。利用者総数の 83.3% が泊を伴うものとなっている。

平成 26 年度は、泊を伴う利用は、前年に比べて 9 % 増加した。

平成 26 年度 短期入所事業実施状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
泊を伴うもの	136	127	144	130	130	134	142	170	156	129	136	181	1715
日帰り利用	30	34	37	37	30	31	31	31	27	18	10	28	344

10 その他

① 広報活動

平成 12 年 11 月より広報紙「いくせい」を発行している。平成 13 年度からは、A 4 判でカラー印刷で発行している。保護者、法人内の他施設へ配布している。

② 保護者会（会長は、石根 恒三氏）

毎月例会を開き、「いくせい」の活動等を保護者に説明したり、課題等があれば施設と保護者で検討を行なった。

11 障害者相談支援事業

① 障害者相談支援事業（平成 18 年 10 月より、相談支援事業・療育等支援事業、平成 25 年 5 月より相談支援事業）

在宅の障害者（児）や家族等の相談に応じ、障害福祉サービスの利用援助や各種情報の提供等を行った。また、本人に関わりのある機関と連携を取りながらサポートし、福祉制度や様々なサービスの情報提供を行うとともに、障害に対する理解を深めるための啓発活動を行った。

今年度、相談支援事業の利用件数は、172 名、訪問による相談 160 件、外来による相談 156 件、電話相談 148 件、その他 2 件（個別支援会議等）合計 543 件の相談を行った。

② 基幹相談支援センター

- 業務の内容
- i 地域の相談支援体制の強化の取組
 - ii 3 障害に対応した総合的な相談支援の実施
 - iii 障害者虐待への二次対応
 - iv 広島市障害者自立支援協議会地域部会事務局の運営

③ 特定・障害児相談支援事業

i サービス利用支援・障害児支援利用援助

障害者等の心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、利用するサービス等の内容等を定めたサービス等利用計画案または障害児支援利用計画案（以下「サービス等利用計画案」

といたします。)を作成し、支給決定等が行われた後に、当該支給決定等の内容を反映したサービス等利用計画の作成した。

ii 継続サービス利用支援・継続障害児利用援助

サービス等利用計画等が適切であるかどうかを一定期間ごとに検証し、その結果等を勘案して、サービス等利用計画等の見直しを行い、内容の変更等を行った。

④ 一般指定相談支援事業

i 地域移行支援

施設や病院に長期入所していた方が、地域での生活に移行するために住居の確保や新生活の準備等について支援を行った。

ii 地域定着支援

居宅で一人で暮らしている障害者に対して、夜間等も含む緊急時の対応や、普段から連絡と取ったり、相談等を行った。

(対象福祉圏域は、広島市)

12 その他

① 苦情・要望について

平成 26 年度は、4 件の苦情を頂いた。

内容 ショートステイで来られた方の衣類の一部が帰宅される際になかった事、職員紹介の写真が一時期掲載していなかった事、水中毒の利用者への対応のために水道を夜間止めていたことなど 4 件

職員が誤っていたことについてはお詫びした。今後、同じ事が無いように、頂いた意見について、全職員が内容を共通認識するようにした。水道については、保護者の方と話し合いを重ね、了承を得て、夜間見守りが困難な時間は、部屋で過ごして頂く(施錠)ようにした。今後は、主治医の精神科医や賀茂病院の療育相談の担当の方の助言をもとに、部屋で施錠して過ごして頂く時間を短くしていけるように取り組んでいくこととした。

(就労継続支援 B 型)

1 はじめに

平成26年度の事業計画の則り、事業を実施しました。

2 利用者の状況

(1) 利用者契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	61	61	61	61	62	62	61	62	61	59	54	53

(2) 年齢構成 (平成26年3月31日現在)

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
計	3	27	9	5	5	3	1	0	53

平均年齢男： 30.9歳 女： 28.8歳 利用者全体： 30.3歳

(3) 障害の状況 (平成26年3月31日現在)

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊤	A	㊦	B	計	1級	2級	3級	4級	6級	計
計	0	11	22	20	53	2	1	1	0	1	5

(4) 住所地状況 (平成26年3月31日現在)

	東区	中区	西区	南区	安佐北区	安佐南区	安芸区	佐伯区	その他	計
計	5	10	11	6	3	7	3	1	7	53

(5) 利用者障害程度区分 (平成26年3月31日現在)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	計
計	6	9	10	3	1	0	24	53

(6) 利用状況 (定員50名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数	61	61	61	61	62	62	61	62	61	59	54	53	714
利用可能日数	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	22	244
利用可能総日数	1050	1000	1050	1100	1050	1000	1100	900	950	950	950	1100	14462
延べ出席実日数	1044	1058	1060	1051	949	1017	1076	861	905	893	850	952	11716
定員に対する出席率 (%)	99.4	105.8	101.0	95.5	90.4	101.7	97.8	95.7	95.3	94.0	89.5	86.5	80.3

年間平均利用者数・・・48人

3 作業収益（平成26年4月～平成27年2月）

作業収入		9,484,212
経費	材料費	0
	消費税	471,543
	諸経費	3,442,073
工賃計		5,117,860
1人あたりの工賃（月平均）		7,696

主な作業種目の内容

- | | | | |
|-------------|-------------|---------------|--------|
| ・ 建築金具の組立 | 徳松工業株式会社 | ・ 贈答用食品袋詰め | 創愛 |
| ・ タオルクリーニング | スタイルグループ他 | ・ 清掃作業 | 広島市役所 |
| ・ 箱ボール組立 | 平原建設 | ・ 安全ピン袋入れ | 明光堂 |
| ・ ブラインド作業 | 蔵田ファイリング | ・ ホタテ貝穴あけ | 丸榮 |
| ・ 折鶴解体 | 千羽鶴未来プロジェクト | ・ 編み棒キャップはめ | チューリップ |
| ・ トリートメント作業 | ヤマサキ | ・ 検査キット発送 | 広島市 |
| ・ パンフレット封入 | 歯科衛生士専門学校 | ・ 販売（冷麺、ノート等） | |

4 職員体制

管理者1名、サービス管理責任者兼生活支援員1名、職業指導員1名、生活支援員7名、目標工賃達成指導員1名

5 行事

月	行 事
4月	
5月	工場見学 歯科検診
6月	歯科検診 消防訓練
7月	七夕イベント
8月	
9月	三篠小学校交流 工場見学 職業能力開発講座
10月	職業能力開発講座 人形劇鑑賞
11月	三篠小学校交流 職業能力開発講座 消防訓練
12月	クリスマスイベント
1月	アビリンピック 三篠小学校交流
2月	節分まつり ロータークラブ交流会
3月	ミニコンサート

ダンスレクリエーション、カウンセリング(月1回) PC講座(月2回)
家族会(2か月に1回)

6 日課

就労継続支援 B 型では次のような日課で生活しました。

時 間	内 容
8:45	出勤 朝礼 体操
9:00	作業
10:30	休憩
10:40	作業
12:00	昼食 休憩
13:00	作業
14:30	休憩
14:40	作業
15:45	片付け 清掃 終礼
16:00	退勤

7 職員研修

6月 防災安全研修

「障害福祉サービスの上手な使い方」の研修

7月 人権擁護研修

8月 育成会職員研修

9月 全国手をつなぐ育成会連合会全国大会島根大会

11月 第40回広島県知的障害者福祉大会

12月 第3回きらっと光る人生を考える研究大会

2月 広島県障害者虐待防止権利擁護研修

販路開拓技術支援研修

3月 メンバーシップ研修

広島県集団基礎研修

8 苦情

なし

9 課題

- ・利用者、登録数を維持できる流れを考える。例えば、就労移行支援事業所、相談支援事業所との情報交換や見学者の受け入れ等。
- ・個別対応が必要な利用者の支援について作業内容や環境を考える。
- ・職員体制や作業環境、利用者の配置、作業所のきまりなどを見直し、整備していく必要がある。
- ・下請け中心の作業が多いので、自主製品を生み出していく。

(生活介護事業)

1 はじめに

平成 26 年度の事業計画の則り、事業を実施しました。

2 利用者の状況

(1) 利用者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
女	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
計	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26

(2) 年齢構成 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
計	0	19	4	1	1	1			26

平均年齢 男： 30 歳 女： 21.7 歳 利用者全体： 25.9 歳

(3) 障害の状況 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
計	7	19			26	2	4				6

(4) 住所地状況 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
計	5	6	6	4	1	3	1			26

(5) 利用者障害程度区分 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
計			2	5	11	8	26

(6) 利用状況 (定員 20 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
利用可能日数	21	20	21	22	21	21	22	18	19	19	19	22	245
利用可能総日数	420	400	420	440	420	420	440	360	380	380	380	440	490
延べ利用実日数	396	399	414	445	398	403	446	360	373	369	381	443	4827
定員に対する 利用率 (%)	94.3	99.8	98.6	101.1	94.8	96.0	101.4	100	98.2	97.1	100.3	100.7	98.5

年間平均利用者数・・・19.7 人

(7) 通所方法

通所方法	人数
送迎利用	12
自力通所	14
計	26

3 職員体制

管理者兼サービス管理責任者 1 名、生活支援員 5 名、看護師 1 名

4 行事

月	行 事
4 月	イースター祭り
5 月	喫茶活動①
6 月	消防訓練 バスハイク
7 月	七夕フェスタ
8 月	夏祭り
9 月	育成会まつり
10 月	ハロウィンパーティー 家族合同行事
11 月	消防訓練 喫茶活動②
12 月	クリスマス食事会、クリスマス会
1 月	書初め 七草粥教室
2 月	節分 バスハイク
3 月	ミニコンサート、お花見、ひな祭り

3 カ月に 1 回・・・家族会

5 日課

生活介護では次のような日課で生活しました。

時 間	内 容
10:00	送迎バス到着 身辺整理
10:30	朝の会
10:45	午前の活動
11:30	トイレ誘導、昼食準備
12:00	昼食 休憩
13:20	午後の活動
14:20	清掃
14:30	帰宅準備
15:00	帰りの会
15:30	帰宅

	月	火	水	木	金
午前	全体活動 軽作業	全体活動 軽作業	全体活動 軽作業 音楽活動(月2回) レクリエーション	全体活動 軽作業 調理実習(月1回)	全体活動 軽作業
午後	グループ活動	グループ活動	グループ活動	グループ活動	グループ活動

6 職員研修

- 5月 甲種防火管理講習
- 6月 「障害福祉サービスの上手な使い方」の研修
- 8月 育成会職員研修
- 9月 福祉職員キャリアパス対応生涯研修
クレーム対応研修
全国手をつなぐ育成会連合会全国大会島根大会
- 11月 職場ストレスマネジメント研修
第40回広島県知的障害者福祉大会
リスクマネジメント研修
- 12月 第3回きらっと光る人生を考える研究大会
- 1月 広島市手をつなぐ育成会研究大会
サービス管理責任者研修
- 2月 広島県障害者虐待防止権利擁護研修
販路開拓技術支援研修
- 3月 メンバーシップ研修
ハラスメント防止研修
組織運営管理基礎研修
広島県集団基礎研修

9 苦情

なし

8 課題

- ・昨年度に比べ利用率は上がっているのだが、職員が少ない時生活支援が充分に行き届かない時がある。
- ・日々の活動のメニューを増やしたが、企画や準備の段階で効率よくまわるような工夫が必要。

平成26年度 事業報告

グループホーム

(よこがわ)

1 グループホームよこがわの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用者の状況

(1) 利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
女	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

(2) 利用者障害程度区分 (平成27年3月31日現在)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	3	5	1	1	0	10
女	1	3	3	3	0	0	10
計	1	6	7	4	1	1	20

(3) 利用状況(定員20名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用可能総日数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7300
延べ利用実日数	419	399	415	432	387	419	467	425	424	409	407	460	5063
定員に対する 利用率(%)	69.8	64.4	69.2	69.7	62.4	69.8	75.3	70.8	68.4	66.0	72.7	74.2	69.4

年間平均利用者数 13.8人

(4) 年齢構成 (平成27年3月31日現在)

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男	0	2	1	2	3	1	1	0	10
女	0	0	2	2	1	2	3	0	10
計	0	2	3	4	4	3	4	0	20

平均年齢 男：37.3歳 女：44.1歳 利用者全体：40.65歳

(5) 障害の状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男	1	4	3	2	10						
女	1	4	3	2	10						
計	2	8	7	3	20						

(6) 住所地状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐北区	安佐南区	安芸区	佐伯区	その他	計
男	2	0	1	0	0	3	0	3	1	10
女	0	1	2	2	1	1	1	2	0	10
計	2	1	3	2	1	4	1	5	1	20

3 行事

月	行 事
4 月	
5 月	
6 月	レクリエーション
7 月	
8 月	夏祭り
9 月	育成会まつり
10 月	
11 月	避難訓練
12 月	忘年会
1 月	
2 月	避難訓練
3 月	

2 ヶ月に 1 回・・・家族会

4 苦情

1 件

- ・GH での夕食時に、本人以外の利用者が咳をしていたことに対して世話人の発言が自分に言われたと思ひ不安になりしばらく泊まれなくなった。保護者から障害の特性をよく理解してほしいと苦情があった。

(つるみ)

1 グループホームつるみの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用者の状況

(1) 利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12
女	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6
計	18	18	18	19	19	19	18	18	18	18	18	18

(2) 利用者障害程度区分（平成26年3月31日現在）

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	6	4	1	1	0	12
女	1	3	2	0	0	0	6
計	1	11	5	1	1	0	18

(3) 利用状況(定員20名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数	18	18	18	19	19	19	18	18	18	18	18	18	219
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用可能総日数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	589	7269
延べ利用実日数	528	556	534	550	552	552	551	531	530	532	498	553	6467
定員に対する 利用率(%)	88.0	89.7	89.0	88.7	89.0	92.0	88.9	88.5	85.5	85.8	88.9	89.2	88.6

年間平均利用者数 16.8人

(4) 年齢構成（平成26年3月31日現在）

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男	0	1	1	0	3	1	2	4	12
女	0	1	2	0	0	1	2	0	6
計	0	2	3	0	3	2	4	4	18

平均年齢 男： 50.7歳 女： 42.6歳 利用者全体： 48歳

(5) 障害の状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳						身体障害者手帳					
	不明	㊶	A	㊷	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男	0	0	5	4	3	12						
女	0	0	1	5	0	6						
計	0	0	6	9	3	18						

(6) 住所地状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐北区	安佐南区	安芸区	佐伯区	その他	計
男	2	2	2	1	0	1	0	0	4	12
女	0	1	1	2	1	0	1	0	1	6
計	2	3	3	2	1	1	0	0	5	18

3 行事

月	行 事
4 月	
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	平和大通り清掃 夏祭り
9 月	
10 月	レクリエーション
11 月	避難訓練
12 月	忘年会
1 月	
2 月	
3 月	避難訓練

3 か月 1 回・・・家族会

4 苦情

なし

(しんぐうえん)

1 グループホームしんぐうえんの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用者の状況

(1) 利用者在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
女	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(2) 利用者障害程度区分（平成 27 年 3 月 31 日現在）

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男					1		1
女			1	1	2		4
計				1	3		5

(3) 利用状況（定員 5 名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	30	364
利用可能総日数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	150	1820
延べ利用実日数	116	112	115	119	96	104	117	97	88	100	108	120	1292
定員に対する 利用率(%)	77.3	72.3	76.7	76.8	61.9	69.3	75.5	64.7	56.8	64.5	77.1	80.0	71.0

年間平均利用者数 3.5 人

(4) 年齢構成（平成 26 年 3 月 31 日現在）

年齢	20歳未満	20～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～59	60歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	1	0	1
女	0	0	0	0	1	0	3	0	4
計	0	0	0	0	1	0	4	0	5

平均年齢 男： 58 歳 女： 49.5 歳 利用者全体： 51.2 歳

(5) 障害の状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	療育手帳					身体障害者手帳					
	㊦	A	㊧	B	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	計
男	0	1	0	0	1						
女	0	4	0	0	4						
計	0	5	0	0	5						

(6) 住所地状況（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	東区	中区	西区	南区	安佐 北区	安佐 南区	安芸 区	佐伯 区	その 他	計
男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
女	0	1	0	0	0	0	0	3	0	4
計	0	1	0	0	0	0	0	4	0	5

3 行事

月	行 事
4 月	
5 月	町内清掃
6 月	
7 月	
8 月	ランチ カラオケ
9 月	
10 月	
11 月	避難訓練 町内清掃
12 月	クリスマス会
1 月	
2 月	避難訓練 カラオケ
3 月	

毎月・・・家族会、体重測定

4 苦情

なし

◇ グループホームの課題

- ・ 宿泊の回数を増やしてもらえるようお願いをし、利用率を上げていく必要がある。
- ・ 退居者があった際、すぐに次の人が入らない（希望者がいない）ので、待機簿等を整備し、すぐに声をかけていけるような体制を整える必要がある。
- ・ 利用者の高齢化対応、つるみの環境改善、生活支援員、サビ管等の職員体制を整える。

平成26年度 事業報告

短期入所事業よこがわ

1 短期入所事業よこがわの事業について、次のとおり報告致します。

2 利用状況(定員7名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	30	364
利用可能総日数	210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	210	2548
延べ利用実日数	146	163	192	194	168	187	185	178	171	158	154	179	2025
定員に対する 利用率(%)	69.5	75.1	91.4	89.4	77.4	89.0	85.3	84.8	78.8	72.8	78.6	85.2	79.5

年間平均利用者数 5.6人

3 苦情

1件

- ・甲殻アレルギーが有る事をアセスメントで聞いていたが、弁当の中に海老が入っていたおかずを提供した事で保護者から苦情があった。

4 課題

- ・土日の利用を開始したことにより、利用率が上がったが、土日利用の人数は少ないこともあるので、さらなる利用率アップを目指す。
- ・重度の利用者も増えてきたが、対応できる職員が限られているので断るケースもある。環境的要因もあるが、まずは職員の能力向上を図っていきたい。

平成26年度 事業実施報告

広島市東部障害者デイサービスセンター

1 実施期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

2 事業内容

(1) 通所事業

① 作業室（生活介護）

・活動内容

日常活動：五感 パソコン 紙すき さをり・手工芸 音楽 シネマ カラオケ
ひまわり工房 ゆらっくす

生活活動：社会体験（各種行事 館外活動等）

基本的な生活（食事 排泄 着脱 コミュニケーション 入浴等）

自立生活（調理実習 買い物 清掃 余暇利用等）

健康活動：散歩 レクスポ 運動 機能訓練等

・利用者数 男14名 女17名 計31名（平成27年3月31日）

・出席状況 利用者数に対して81% 定員30名に対して80%

② 重介護サービス室（生活介護）

・活動内容

日常活動：創作 体験 リラックス

生活活動：社会体験（各種行事 忘年会 プール お茶会 外食 館外活動等）

基本的な生活（食事 排泄 着脱 コミュニケーション 入浴等）

自立生活（調理実習 買い物 清掃 余暇利用等）

健康活動：散歩 体幹調整 スポーツレクリエーション Wii ダンス
機能訓練等

・利用者数 男6名 女10名 計16名（平成27年3月31日）

・出席状況 利用者数に対して77% 定員10名に対して61%

③ 地域活動支援Ⅱ型

・活動内容 作業室と同じ（一緒に活動している）

・利用者数 女1名（定員2名）（平成26年7月退所）

・出席状況 利用者数に対して51% 定員2名に対して26%

④ 平成26年度通所事業行事

「ひまわり」は作業室、「マンボウ」は重介護サービス室の愛称です。
太文字は両室参加の全体行事です。

月日	行事内容		
4月		10月	スポーツフェスティバル (船越小学校) マンボウ…館外活動
5月		11月	安芸区民まつり ひまわり…館外活動
6月	マンボウ…プール活動 マンボウ…外食体験	12月	ひまわり…食事会(屋外) マンボウ…忘年会
7月	ひまわり…七夕 マンボウ…プール活動	1月	ひまわり…新春行事
8月		2月	クラブ参観日
9月	育成会まつり ひまわり…館外活動 マンボウ…館外活動	3月	ひまわり…簡単クッキング マンボウ…お茶会(室内)

⑤ 利用者の状況(平成27年3月31日現在)

年齢構成

年齢		～20	～25	～30	～35	～40	～45	～50	～55	56～	計	
作業室	男	2	3	4	3	0	1	0	0	1	14	31
	女	0	2	3	2	3	4	1	0	2	17	
重介護サービス室	男	0	1	4	0	0	0	1	0	0	6	16
	女	0	3	2	1	1	0	1	0	2	10	
地域活動支援Ⅱ型	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
全体	男	2	4	8	3	0	1	1	0	1	20	
	女	0	5	5	3	4	4	2	0	4	27	
	計	2	9	13	6	4	5	3	0	5	47	

居住地区

区	安芸区	南区	中区	東区	西区	合計
作業室	13	9	2	6	1	31
重介護サービス室	2	9	2	3	0	16
地域活動支援Ⅱ型	0	0	0	0	0	0
計	15	18	4	9	1	47

通所方法

	送迎バス	自主通所	合計
作業室	28	3	31
重介護サービス室	12	4	16
地域活動支援Ⅱ型	0	0	0
計	40	7	47

障害程度区分

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
作業室	男	—	—	2	5	3	4	14
	女	—	—	3	7	4	3	17
重介護室	男	—	—	0	0	1	5	6
	女	—	—	0	1	4	5	10
地域活動支援	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	5	13	12	17	47

障害の状況

手帳 身体障害者 手帳級	重複所持									単独所持									合計	
	1		2		3		5	計	1	2	3	5	計	計						
療育手帳 (級)	○ A	A	○ A	A	○ B	○ A	A	○ A						○ A	A	○ B	B			
作業室	1	1	1	0	0	0	1	1	5	1	0	0	0	1	3	20	1	1	25	31
重介護 サービス室	6	0	3	0	0	0	0	0	9	6	1	0	0	7					16	
地域活動 支援型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	1	4	0	0	0	1	1	14	7	1	0	0	8	3	20	1	1	25	47

出席状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
作業室	登録者数	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	31	31	30	
	出席可能日	21	20	21	22	20	20	22	18	19	19	19	22	20	
	出席可能な延べ日数	609	580	609	638	580	580	660	540	570	570	589	682	601	
	実出席延べ人数	501	471	488	543	440	501	551	436	441	448	464	531	485	
	出席率(%)	82	81	80	85	76	86	84	81	77	79	79	78	81	
	定員30名の出席率(%)	80	79	77	82	73	84	84	81	77	79	81	80	80	
重介護	登録者数	17	16	16	16	16	16	15	15	15	16	16	16	16	
	出席可能日	A	10	10	11	11	11	9	11	9	9	10	10	11	10
		B	11	10	10	11	9	11	11	9	10	9	9	11	10
	出席可能な延べ日数	179	160	168	176	160	160	165	135	143	152	152	176	161	
	実出席延べ人数	144	124	133	142	134	126	131	99	98	108	106	140	124	
	出席率(%)	80	78	79	81	84	79	79	73	69	71	70	80	77	
	定員20名の出席率(%)	69	62	63	65	67	63	60	55	52	57	56	64	61	
地域活動 支援	登録者数	1	1	1	1									1	
	出席可能日	21	20	21	22									21	
	出席可能な延べ日数	21	20	21	22									21	
	実出席延べ人数	14	7	0	0									11	
	出席率(%)	67	35	0	0									51	
	定員2名の出席率(%)	33	18	0	0									26	

⑥ 給食サービス

	利用者数	給食サービス利用者数	利用率
作業室	31	30	97%
重介護サービス室	16	14	88%
地域活動支援Ⅱ型	0	0	0%
全体	47	44	94%

⑦ 入浴サービス

	利用者数	入浴サービス利用者数	利用率
作業室	31	7	23%
重介護サービス室	16	13	81%
地域活動支援Ⅱ型	0	0	0%

(2) 地域支援事業

社会適応訓練室・静養室の利用 個人利用・専用利用

① 各種教室の企画・開催・運営

- ・ 月2回開催： 手工芸教室(24回)・書道教室(23回)・絵画教室(22回)
陶芸教室(24回)・カラオケ教室(23回)・染めと織り教室(23回)
- ・ 月1回開催： フラワーアレンジメント教室(12回) ・ヨガ教室(12回)
- ・ 福祉ボランティア教室：6月実施(4名登録)
- ・ パソコン教室： 随時(広島市主催)

② サークル活動

- ・ ボランティアサークル「イースト」
ボランティア教室終了後、ボランティア登録をして当センターの諸活動に参加
登録ボランティア： 26名(年間活動人員 延べ795名)
- ・ 織りフレンズ
第1・第3金曜日(12:00~14:00)
12名(介助者含む)

③ 教室事業利用状況

平成26年度教室利用状況														
教室名	回数	障害別受講者数										その他		
		身体障害							知的障害	精神障害	計	その他		
		視覚	聴覚	肢体	内臓	言語	その他	小計				介助	ボランティア	計
絵画	23	0	0	53	21	0	0	74	13	8	95	18	18	36
手工芸	24	4	23	23	18	0	0	68	30	0	98	23	59	82
陶芸	24	52	23	43	22	12	0	152	0	43	195	39	61	100
カラオケ	24	0	0	5	24	0	0	29	115	13	157	84	22	106
書道	23	0	0	58	0	20	0	78	38	17	133	38	62	100
染めと織り	22	52	0	68	0	0	0	120	36	0	156	52	50	102
ヨーガ	12	6	9	16	7	0	0	38	0	9	47	9	0	9
フラワーアレンジメント	12	0	12	12	0	11	0	35	43	0	78	34	45	79
合計	164	114	67	278	92	43	0	594	275	90	959	297	317	614

④ 機能訓練室の利用

理学療法士による理学療法相談を経て機能訓練を行なう。

⑤ 相談業務

- ・ 生活相談（随時） 社会福祉士等による相談
- ・ 電話相談 処遇相談 各種相談

(3) 地域交流事業

① 福祉教育事業

- ・ 特別支援学校生徒のための進路指導としての福祉教育 11名
- ・ 大学・専門学校生のための職業としての福祉教育 24名
- ・ 福祉の職場体験（広島市立船越中学校） 2名
- ・ 教員・保護者・生徒の見学（特別支援学校） 26名

② ボランティア活動

- ・ ボランティアサークル イースト：ボランティア教室修了後、ボランティア登録をして当センターの諸活動に参加する。
- ・ 登録ボランティア（26名 年間活動人員延べ795名）

③ 育成会まつり

- 開催日 : 9月21日（日）
- 開催場所 : 広島市立三篠小学校
- 内容 : 作品展示 自主製品の販売
- 参加団体 : 利用者 育成会各施設利用者 家族 地域住民

- ④ 平成26年度安芸区民まつり
開催日 : 11月9日(日)
開催場所 : 安芸区総合福祉センター・安芸区民文化センター
内容 : 作品展示 自主製品の販売
参加団体 : 利用者 介護者 地域生活支援利用者 地域住民 ボランティア

(4) 安全管理、防災に関すること

- ・ 避難訓練の実施 (火事・地震・送迎バスに関するもの)
 - 安芸区総合福祉センター全体避難訓練 … 年1回ー2月19日実施
 - 消防訓練 (安芸区消防署内) … 11月20日実施
 - 東部障害者デイサービスセンター避難訓練 … 7月28日、3月23日
- ・ 防災設備、電気設備、エレベーター等点検整備 … 安芸区総合福祉センター
- ・ 送迎バス等の点検整備 … 業者委託
- ・ デイサービスセンター内施設点検・整備 … 安全点検 毎月1回

(5) 職員研修

- (ア) 館内の研修 8回
- (イ) 館外の研修 39回

(6) 広報活動

- ・ 東部デイニュース 隔月発行
- ・ 東部障害者デイサービスセンター年報作成

(7) 苦情処理窓口設置

- ・ 毎日、連絡ノートをとおして相談を受付けており、その都度生活支援をする中で解決している。
- ・ ご意見箱の設置

平成26年度 事業報告

広島市西部障害者デイサービスセンター

1 管理業務の実施状況

(1) 市民の平等利用の確保策の実施状況

- ・ デイサービスセンター条例第4条に基づき、適正利用に努めている。

(2) 事業の実施状況

- ・ 開館日数 293日
- ・ 開所日数 243日

(3) 施設管理の実施状況

- ・ 毎月はじめに各室安全点検実施
- ・ 送迎バス点検整備……随時
- ・ 避難訓練の実施……火災訓練2回/年〔6月、12月〕
地震訓練1回〔2月〕

2 施設の点検・修繕等の実施状況

- ・ エレベーター点検……定期点検…毎月2回実施
- ・ 館内消毒……2回/年〔7月、2月〕
- ・ 自家用電気工作物点検……月次点検隔月一回、年次点検年
- ・ 消防設備点検……1回/年〔8月、3月〕
- ・ 空調設備点検……2回/年〔6月、11月〕
- ・ LED電球取り付け工事
- ・ 陶芸室床下工事
- ・ キュービクル工事
- ・ 施設窓清掃
- ・ 建物裏通路再生砕石敷込工事
- ・ 厨房 スチームコンベクション取り付け工事
- ・ 本館側外壁タイル修復工事
- ・ オーニング取り付け工事
- ・ 給湯管修繕工事

3 施設・物品の滅失・き損の状況

- ・ 外壁のタイルに浮きがある。

4 施設の利用状況（年間件数）

(1) 利用者数

別添1のとおり。

(2) 使用許可件数

別添1のとおり。

(3) 使用拒否等の件数・理由

別添1のとおり

(4) 有料利用者数

別添1のとおり

(5) 減免対象者数・理由

別添1のとおり

(6) 利用料金収入額(利用料金制を導入する施設のみ報告)
別添1のとおり

5 利用促進の数値目標に対する実績値及び利用促進策の実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
作業室	登録者数	33	33	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
	出席可能日	21	20	21	22	20	20	22	18	19	19	19	22	20
	出席可能な延べ日数	693	660	672	704	640	640	704	576	608	608	608	704	651
	実出席延べ人数	572	531	541	541	454	527	583	464	456	452	488	582	515
	出席率(%)	83	80	81	77	71	82	83	81	75	74	80	83	79
	定員30名の出席率(%)	91	86	86	82	76	88	88	86	80	79	86	88	84
重介護	登録者数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	出席可能日	11	10	11	11	10	10	11	9	10	10	10	10	11
	出席可能な延べ日数	198	180	198	198	180	180	198	162	180	180	180	198	186
	実出席延べ人数	154	140	152	157	133	146	149	118	119	120	135	140	139
	出席率(%)	78	78	81	79	73	81	75	73	69	66	75	71	75
	定員20名の出席率(%)	70	70	69	72	67	73	68	66	60	60	68	64	67

6 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況(指定管理者によるアンケートの実施等) [実施月のみ報告]

- ・ 日々ノートにて連絡を取り合い、利用者、保護者のニーズの把握に努めている。

7 個人情報保護への対応状況

- ・ 「社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会 社団法人広島県手をつなぐ育成会 個人情報保護規定」(平成17年4月1日策定)に基づき対応している。

8 情報公開の実施状況

- ・ 「社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会 社団法人広島県手をつなぐ育成会 個人情報保護規定」(平成17年4月1日策定)に基づき対応している。

9 緊急事態、不法行為等への対応状況(防災、防犯、衛生対策などの安全対策を含む。)

- ・ 「育成会各施設消防計画」「緊急事故対応」(平成12年1月11日策定、平成17年8月25日改定)に基づき対応している。

10 苦情・要望への対応状況

- ・ 「育成会福祉サービス向上に関する処理要綱」(平成14年4月1日策定)に基づき対応している。
- ・ ご意見箱を設置している。
- ・ 本年度の苦情処理件数は2件であり、いずれも職員の支援に対する疑念や指摘であった。所長、サービス管理責任者、担当支援員により、真摯に対応させていただいたつもりである。

11 人員体制、人員配置、指揮命令系統、責任体制、職員研修(接遇、施設設備の取扱い等)

- ・ 所 長 1名
- 副所長 1名
- サービス管理責任者 1名
- 事 務 2名
- 生活支援員 20名
- 看護師 1名
- 入浴介助員 2名

- ・ 職員研修・・・館外研修、館内研修（別添2）

12 自己評価の実施状況

- ・ 四半期ごとに実施している。

13 自主事業の実施状況

- ・ 無し

別添1

施設の利用状況（平成26年度）

(1) デイサービス利用者数

* 作業室

登録者数	32 人
(うち新規登録者)	1 人
利用延べ回数	6,191 回
給食提供食数	5,979 回
入浴提供回数	54 回
送迎提供回数	11,086 回

* 重介護サービス室

登録者数	18 人
(うち新規登録者数)	0 人
利用延べ回数	1,663 回
給食提供食数	1,183 回
入浴提供回数	884 回
送迎提供回数	1,679 回

(2) 使用許可件数

機能 訓練室	利用件数	0 件
	利用人数 障害者	1,346 人
	介助者等	0 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	1,346 人

会議室 ①	利用件数	24 件
	利用人数 障害者	0 人
	介助者等	0 人
	一般	160 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	160 人

和室	利用件数	0 件
	利用人数 障害者	0 人
	介助者等	0 人
	一般	0 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	0 人

会議室 ②	利用件数	148 件
	利用人数 障害者	943 人
	介助者等	171 人
	一般	92 人
	有料利用者人数	0 人
	無料利用者人数	1,201 人

* 教室事業利用者数

- ・障害者 933人
- ・介助者 225人
- ・Vr 92人

* ボランティア、実習生等受入数

ボランティア 92 人
 実習生 4 人

(3) 使用拒否等の件数・理由〈年月日、相手方の住所・名前、理由〉

0 件

(4) 有料利用者数

0 人

(5) 減免対象者数・理由

1,553 人 理由:障害をもつ方の生きがい対策及び福祉の向上のため

(6) 利用料金収入額

109,345,806 円

(内訳)

介護給付費	105,972,436円
定率負担	
給食・入浴の実費	3,373,370円

介護給付費, 定率負担額については、
 地域生活支援事業分も含んだ額

職 員 研 修

1 館外研修

今年度の研修については、専門的知識をより深めるため、研修内容に焦点を宛てて参加した。また、研修報告においても随時行っていき、職員間で知識を共有していくことで職員の資質向上に努めた。

研 修 名	研修内容	研修場所
食中毒予防講習会 (6月)	夏季の食中毒予防及び最新の食中毒に関する情報提供を受ける	東区総合福祉センター
共に支えあう地域づくり シンポジウム (6月)	障害があっても住み慣れた地域で自分らしく生涯自立して暮らしていきたいという思いに寄り添っていくためにこれから何が必要とされているのかを考える	つばき会館（呉市）
キャリアパス対応生涯研修 (初任者コース) (8・9月)	福祉職員が自らのキャリアの道筋を描き、それぞれの段階に応じた能力の向上を目指すとともに、各法人、事業所が積極的に職員のキャリアパスに関与し支援することを目的とする	広島県社会福祉会館
広島県障害者相談支援従事者 初任者研修 (8月)	「地域における障害者相談支援体制を充実させることを目的とし、相談支援に従事しようとする者」に対する研修であり 主に障害者ケアマネジメントの手法を学ぶ	西区民文化センター 広島県立総合体育館
接遇マナー研修 (9月)	服装・身だしなみから、電話の応対・接客方法等職場に必要な接遇マナーやクレームの対応方法について習得する	広島県社会福祉会館
広島県経営協 次世代リーダー 養成講座 (8・9・10月)	法人や部署を総合的見地から捉える能力や環境変化に対応できる実践的能力を身に着けるために必要な知識を付与する	広島県社会福祉会館
社会福祉法人新会計実務研修 (9月)	新会計基準の実務的な移行時の処理を中心に最新の情報を交えて学ぶ	広島県社会福祉会館
安全運転管理者等法定講習 (9月)	道路交通法第108条2第1項第1号に掲げる安全運転管理者・副安全運転管理者に対する講習	広島県運転免許センター
保護者等支援者研修 「子どもの感覚について」 (9月)	感覚処理障害について、作業療法を基に事例を交えて、発達障害についての理解と知識を深めるため学ぶ	広島市心身障害者福祉センター
保護者等支援者研修 「発達障害の特性と対応」 (9月)	発達障害の種類、又はその特徴について、さらにその障害を持たれている方への対応等を学ぶ	広島市心身障害者福祉センター
保護者等支援者研修 「発達障害と薬物療法」 (9月)	主にADHD治療における薬物療法について発達障害についての理解と知識を深めるため学ぶ	広島市心身障害者福祉センター

感染症予防研修 (11月)	保健衛生担当の職員として感染予防についての基本的知識である標準予防策や、感染経路予防策、職業感染防止などについて学ぶ	広島県社会福祉会館
リスクマネジメント研修 (中堅職員編) (11月)	福祉職員としてリスクマネジメントの予防に焦点をあて、新たな視点からリスクへの予防及び対応策について学ぶ	広島県社会福祉会館
広島県サービス管理責任者研修 (11・12月)	個々の利用者についての初期状態の把握や個別支援計画の作成、定期的な評価などの一連のサービス提供プロセス全般に関する責任を担うことによりサービスの質の向上を図ることのできる人材の養成を目的とする	西区民文化センター 広島県立総合体育館
保護者等支援者研修 「発達障害児のコミュニケーション支援」 (11月)	言語聴覚士による自閉症スペクトラムと言語について、発達障害についての理解と知識を深めるための取り組み	広島市心身障害者 福祉センター
リスクマネジメント研修 (管理編) (12月)	現場でのリスクの予防や発生した際の責任者としての他所ポイントを学び、また管理者の視点からリスクへの予防及び対応策について学ぶ	広島県社会福祉会館
きらっと光る人生を考える研究 大会 (12月)	法律の改正にあたり、大きな問題について検討し、障害者総合支援法に対して提供する事を目的とする大会	広島市 青少年センター
保護者等支援者研修 「発達障害とは」 (12月)	発達障害についての基本的理解と知識を深めるための取り組み	広島市心身障害者 福祉センター
防火管理業務に関する 防火講習会 (12月)	火災時における自衛消防組織等の対応力向上を図り、建物利用者に対する防火管理上の安全を確保するため	広島市西消防署
広島県障害者相談支援従事者 現任研修 (1月)	地域の障害者などの意向に基づく地域生活を充実させるために必要な援助技術の習得や、日常の相談支援業務の検証を行うことにより相談支援に従事する者の資質の向上を図ることを目的とする	安芸区民文化 センター
上田法認定講習会(多職種) (11・12月)	上田法治療研究会においての公式な認定講習会	広島県立障害者 リハビリテーション センター
新任職員教育担当者研修 (中堅職員向け) (1月)	職場リーダーとして求められる役割や行動について理解し、職場で実践するための具体的な手法の習得及び教育担当者としての行動につなげていく。	広島県社会福祉会館
保護者等支援者研修 「発達障害と就労支援」 (1月)	発達障害者の就労支援について、就労前段階を中心に課題や支援方法について学ぶ	広島市心身障害者 福祉センター

教育マネジメント研修 (管理者向け) (1月)	法人の中間管理職を対象にマネジメントの基本的理解を深め、職場で活用できる具体的な手法の習得をめざす	広島県社会福祉会館
障害者福祉センター等 職員研修会 (2月)	国の障害者福祉行政等新しい情報を聞き、地域の障害者生活支援及び施設経営などの知識について研修し、施設運営の充実、強化を図る	全国障害者総合福祉センター (戸山サンライズ)
広島県障害者虐待防止・権利擁護研修 (2月)	障害者福祉施設及び障害者福祉サービス事業所等における障害者虐待防止マニュアル等について	広島市東区民文化センター

2 館内研修

今年度も昨年度と同様、心肺蘇生法と AED 使用方法について習得する講習会を実施した。また、障害者虐待防止法に基づく支援のあり方について、職員の専門性の向上とその共通理解をより深める目的として、講師を招いて講義を受けた。

なかでも一番に力を入れたものとしては、機能訓練の一環としてセンターで取り組んでいる「上田法※」の実践についてである。今年度も引き続き講師を招き、年数回に渡って研修を実施し、職員の更なる技術の向上を図った。

【赤十字救急法講習会】

実施期間	平成26年10月10日(金)
講師	日本赤十字社 広島県支部事業部 派遣指導員 1名
講習内容	蘇生法とAED使用方法を習得する (実技は訓練人形を使用して2人1組で実施)

【障害者虐待防止法講習会】

実施期間	平成27年1月23日(金)
講師	広島県障害者権利擁護センター 職員 1名
講習内容	障害者虐待防止法及び成年後見制度についての理解

【機能訓練(上田法)研修】

実施期間	平成26年7月31日(木)・9月25日(木)・平成26年12月16日(火) 平成27年2月19日(木)
講師	柴田 邦弘 理学療法士(広島県立障害者リハビリテーションセンター)
研修内容	【上田法について】 ・上田法の目的・手技の特徴・効果など ・実技 ・利用者への施術

1 事業の名称

育成会 上安作業所（就労継続支援 B 型事業）

及び喫茶いくせい（上安バスターミナル店、広島ビッグウェーブ店）運営業務

2 事業の目的

一般企業等で就労することが困難な障害者が、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動又は商業活動の機会の提供を行う。

3 事業の内容

定員20名。平成26年3月末時点での登録者は22名。

利用者内訳は、上安作業所16名 上安店1名 牛田店5名

①育成会 上安作業所（月～金 10：15～16：00）

- ・街区公園等清掃事業 上安第3公園清掃及び花壇管理業務
- ・常時下請作業
 - トリートメントの台紙貼り（14000枚／週）
 - 建築部材の組立（9900個／週）
 - バッテリーカバーのスポンジ貼り（150／週）
 - 菓袋の封筒貼り（1000枚／4週）
- ・不定期下請作業 ○印刷物ページ取り、封入、盆灯籠飾り、折鶴等
- ・生活活動 宮島見学、デイキャンプ、ビヤガーデンの会、忘年会等
- ・職場見学並びに実習 テンパール、ニシキプリント、三島食品、中本本店で軽作業の実習
- ・職場実習の受け入れ 平成26年度は特に依頼なし

②喫茶いくせい 上安バスターミナル店（月～金 10：00～17：00）

- ・喫茶室運営 上安バスターミナル1F「喫茶いくせい」での接客等
- ・売店運営 喫茶いくせい売店にて各作業所の就労支援商品等の接客・販売

③喫茶いくせい 広島ビッグウェーブ店（火曜日定休 10：00～17：00）

- ・喫茶室運営 広島市東区スポーツセンター2F「喫茶いくせい」での接客等
 - ・売店運営 広島市東区スポーツセンター1Fにて食品・スポーツ用品等の接客・販売
- スケートリンクで売店コーナーの開設（11月～4月）

○各事業収入内訳は以下のとおり

上安作業所	1, 289, 408
喫茶いくせい上安店	4, 856, 020
喫茶いくせい牛田店	15, 240, 761
合計	21, 386, 189
	(昨年度比 0.94)

4 職員研修

就労移行支援事業所「ノイエ」（安芸区）の見学・講話

5 平成26年度の目標に対する成果

○上安作業所、上安喫茶、牛田喫茶の3か所の職員の交流や有機的な連携を増やし、上安作業所としての一体感を深め、効率化を図る。

- ①3つの事業所の職員や利用者が一堂に会する機会を年間計画に位置付ける。
- ②それぞれの事業所の繁忙期の応援態勢を整える。
- ③機関紙「ターミナル」の発行により、上安作業所の課題に対する共通理解を図る。
- ④家族会との連携を強化し、懇親会などを通して意思の疎通を図る。

⇒三事業所交流行事として宮島見学・ビヤガーデンの会・デイキャンプ・忘年会の4つの行事を実施。三事業所の利用者や職員の交流が深まり、一体感を増すことができた。自発的に休みの日に他の事業所に顔を見せ、作業を手伝う利用者もおり、利用者同士の人間関係も深まっている。作業所だよりは、平成25年度からの通算99号まで発行し、家族への情報提供、共通理解という面で大きな役割を果たし、感謝されている。

○地域の人たちや諸機関に積極的にアプローチし、上安作業所の存在を知ってもらう。また、交流の機会を増やし、育成会上安作業所の知名度を上げて行く。そして収益増加を目指すとともに、職場開拓をすすめる。

- ①喫茶・売店の雰囲気、環境を変え、各店の色を出していく（掲示物、看板、商品配置、販売商品の種類等）
- ②チラシの配布等をとおして、アピールしていくとともに再認識してもらう
- ③公民館や大学などの地域の施設や機関と連携体制がとれるようお願いしていく
- ④作品展やイベントを開催していく
- ⑤地域の行事等に積極的に関わっていく
- ⑥オリジナル商品、メニューの開発を検討していく
- ⑦あいさつなどをとおして、明るい事業所にしていく

⇒安佐南区社協の主催する安佐南ボランティアまつりに参加し、地域との連携を深めようと思っていた矢先、8月の集中豪雨災害のためまつりが中止となった。安佐南ボランティアまつりへの参画を通して地域への浸透を図ろうと考えていたので、この点は残念であった。一方、これまで障害者雇用をしていなかった地域の二つの事業所に働きかけて、利用者の職場実習、あるいは障害者雇用に向けて前向きな反応をいただけた。利用者の書いた詩を製本し、配布することで、育成会や上安作業所のアピールにつなげることができた。

6 事業所への苦情

件数 0

平成26年度広島作業所事業報告

I 広島作業所B

1 通所者状況

(1) 障害・年齢状況 平均年齢 46歳 (平成27年3月31日現在)

性別	現員	療育手帳					年齢階層別人数					
		㊟	A	㊿	B	精神	～19	20～	30～	40～	50～	60～
男	43	0	11	27	5	0	1	8	5	15	8	6
女	9	0	4	5	0	0	0	0	0	4	3	2
計	52	0	15	32	5	0	1	8	5	19	11	8

(2) 在勤年数状況 (平成27年3月31日現在)

性別	現数	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25年以上
男	43	3	10	6	5	7	6	6
女	9	1	0	0	0	0	2	6
計	52	4	10	6	5	7	8	12

(3) 福祉事務所別状況 (平成27年3月31日現在)

性別	現数	中区	東区	西区	南区	安北	安南	安芸	佐伯	廿市	府中	東広島	安芸高
男	43	10	3	12	4	0	2	1	6	5	0	0	0
女	9	1	3	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0
計	52	11	6	14	5	0	2	1	7	6	0	0	0

(4) 障害程度区分

非該当 0人
 区分1 1人
 区分2 16人
 区分3 20人
 区分4 2人
 区分5 0人
 区分6 0人
 未判定 13人

2 就労支援の状況

(1) 部署別利用者数

(平成27年3月31日現在)

部署	第1作業部	第2作業部	第3作業部	計
職員数	2	3	2	7
利用者(男)	13	15	15	42
利用者(女)	4	2	3	9
計	17	17	18	52

(2) 通所状況

月 出席	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要出席 日数A	21	20	21	22	21	21	22	18	19	19	19	22
在籍 数B	49	49	50	50	49	51	52	52	52	52	52	51
総出席数 A×B=C	1,029	980	1,050	1,100	1,029	1,071	1,144	936	988	988	988	1,122
実出席 数計D	915	894	925	937	761	882	975	787	791	828	797	936
出席率 D/C(%)	89%	91%	88%	85%	74%	82%	85%	84%	80%	83%	80%	83%
H26 出席率	83.5%											

(3) 作業内容

第1作業部	金具組立(徳松工業) 銅線選別(太陽工業) リサイクル(安田金属) さをり 育成会祭り
第2作業部	建築金具組立(広常産業) 公園清掃(広島市西区) 封筒入れ(育成会)
第3作業部	箱折作業(弁当箱 菓子箱)(パワーヒロセ・河内) 箱詰作業(菓子等) 創愛・瀬川食品 シール張(コンパックス) ポリッシャーカバー(善管)

(4) 作業収入及び工賃

年 度		H26 (円)	H25 (円)	H24 (円)	H23 (円)	H22 (円)
収 入		8,522,790	9,023,080	7,833,762	7,859,196	6,543,993
支 出	経 費 (消費税含む)	1,417,666	581,682	1,132,550	1,633,079	605,762
	工 賃	7,422,730	7,252,080	6,726,646	4,910,914	5,959,930
工賃/月・人		12,588	13,584	12,858	11,990	8,136

(5) 就労の状況

- ア B型から一般就労 1名
- イ B型からA型へ移行 0名

(6) 入退所の状況

- ア 入所4名(就職2,在宅2)
- イ 退所2名(就職1,自宅1)

3 本人中心の行事等

(1) 話し合いの場への参加と活動

- ア 作業所運営委員会への出席(利用者の意見を集約して代表が意見を述べる。)
- イ 活動委員会(毎月第2木曜日)
 - ・行事の企画運営(グルメ大会、研修旅行等)
- ウ 生活委員会(毎月第2火曜日)
 - ・生活目標設定、掃除当番、園芸活動、体操当番など
- エ さをり教室への参加

(2) 実施した行事・活動

月	行 事 等	備 考
4月	さをり教室(2回) 永年勤続表彰	利用者健康診断(八幡、A型含む) (広島県環境保健協会) 拡大運営委員会
5月	春の散策(A, B)(宮島) さをり教室(2回)	拡大運営委員会
6月	グルメ大会(B・八幡) さをり教室(2回)	拡大運営委員会
7月	避難訓練 さをり教室(2回)	拡大運営委員会
8月	大掃除 さをり教室(2回)	
9月	さをり教室(2回)	育成会祭 作業所運営委員会(利用者代表) 拡大運営委員会
10月	避難訓練 研修旅行(竹原・三原)	

11月	さをり教室（2回）	広島県知的障害者福祉大会 利用者健康診断（八幡、A型含む） （協力医）
12月	大掃除 さをり教室（2回）	
1月	新年激励会 避難訓練 さをり教室（2回）	新年互礼会・改修工事
2月	さをり教室（2回）	運営委員会（利用者代表） 改修工事
3月	さをり教室（2回）送別式 避難訓練 就職お祝いの会	改修工事

4 地域とのつながり

(1) 学校等

広島県立廿日市特別支援学校・広島市立広島特別支援学校の生徒、保護者の実習
広島市立西部子ども療育センター通園部保護者見学
広島市立清和中学校 リサイクル活動協力

(2) 福祉関係等

広島県知的障害者福祉協会 広島障害者雇用支援センター 広島市障害者就業・生活センター ハローワーク 佐伯区社会福祉協議会 西区社会福祉協議会

(3) 施設・団体

広島市農林水産振興センター 商工センター企業連携協議会

(4) 啓発

西区社会福祉協議会行事等への参加（パネル展示等）

(5) 広島市西区から清掃事業受託

(6) 広報活動

作業所たより（行事予定表）、 広報紙「翔」（季刊）、
広島作業所パンフレットの活用

5 家族会、後援会との連携

(1) 家族会・後援会総会（5月）

(2) 毎月20日家族会

(3) 部署別懇談会（1月）

(4) 研修・懇親（グルメ大会、研修旅行等を利用者保護者合同で開催）

(5) 毎月「作業所たより（行事予定表）」「給食献立表」配布

(6) 広報紙「翔」発行

6 職員の研修

(1) 各種研究会や公的機関の開催する研修会への参加

ア 研究大会等参加

- 第1回全日本手をつなぐ育成会全国連合大会 島根大会 : 2人
- 第56回中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会 松江大会 : 1人
- 第40回広島県知的障害者福祉大会（因島）: 2人

- 広島県知的障害者福祉協会
 - 支援スタッフ等研修5回 : 6人
 - 支援区分判定ソフト研修 : 2人
 - 就労セミナー : 1人
- きらっと光る大会 : 2人
- やり直せる社会へ : 2人
- イ 人権研修、防災研修、相談対応研修、中堅職員研修、新任職員、法人研修等
 - 県社協研修 : 4回 4人
 - 夏季研修 : 14人
 - 就労継続支援の個別支援計画作成研修 : 10人
- ウ 就労支援事業他事業所見学
 - 中国芸南・きつつき作業所・ベーカリーショップ ソアー・ひとは作業所・ウイング可部・金城ウエスタンライディングパーク

(2) 所内研修

研修報告会、事例研究（ケース会議）、人権研修、外部講師を招いて 個別支援計画とサービス等利用計画
日米クック職員講師を招いて ノロウイルス研修
A I U職員を招いて 付添看護共済学習会

7 職員会議等

- (1) 企画委員会（毎月第4火曜日）
- (2) 職員会議（八幡事業所との合同開催）（毎月第4水曜日）
- (3) ケース会議（原則毎週水曜日）

8 広島作業所運営委員会

- 第1回 平成26年9月5日 将来構想について
- 第2回 平成27年3月11日 理事会 27度事業計画
西部拠点構想 拡大運営委員会
- 第2回 4月30日
- 第3回 6月22日
- 第4回 7月4日
- 第5回 7月30日
- 第6回 9月5日

9 各分掌業務

- (1) 総務
 - ① 医療機関との連携（協力医）
 - ② 防災訓練（火災避難訓練）
 - ③ 害虫駆除（広島県薬業）
 - ④ 給食関係事務（嗜好調査、業者との連絡等）
 - ⑤ 安全点検（毎月）：チェックリスト表による点検と対応
 - ⑥ 工賃計算 交通費助成の申請・請求
 - ⑦ 事故報告

- ⑧ 苦情解決
- ⑨ 訓練等給付費請求事務

(2) 事務

- ① 文書処理
- ② 予算決算会計処理
- ③ 工賃支払
- ④ 家族会、後援会会計

(3) 生活委員会

- ① 個別支援計画の見直し 利用者の目標・願い等の実態把握
- ② 生活目標の設定と反省
- ③ 会議開催（定期 臨時）
- ④ 日々の生活における環境チェック 毎週1回外周清掃 バラの手入れ・草抜き
- ⑤ 健康管理 健康診断実施計画 伝染性疾病の予防 うがい手洗い励行

(4) 活動委員会

- ① 利用者の希望を取り入れた行事の立案
- ② 本人中心の行事（保護者共催）の推進
（研修旅行 B級グルメ等）

(5) 作業部（1部 2部 3部）

- ① 毎月の安全目標の設定 作業室の整理整頓をしてけがない部署運営
- ② 清潔な環境の維持整備
- ③ 利用者の健康、生活管理（健康観察、服装 作業着 エプロン 帽子等）
- ④ 作業の開拓
- ⑤ さをり織の継続（希望者） 隔週木曜日午前 講師吉富誠子先生

1 O 課題

- (1) 利用者の高齢化、体力低下への対応
- (2) 家族の高齢化
- (3) 受注作業の維持・拡大
- (4) 工賃向上

II 広島作業所A

1 利用者の状況

(1) 障害・年齢状況 平均年齢 38歳 (平成27年3月31日現在)

性別	現員	療育手帳				年齢階層別人数					
		㊟	A	㊞	B	~19	20~	30~	40~	50~	60~
男	18	0	6	6	6	0	3	7	7	1	0
女	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
計	19	0	6	6	7	0	3	7	8	1	0

(2) 在勤年数状況 (平成27年3月31日現在)

性別	現数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上
男	18	0	0	0	2	16	—	—
女	1	0	0	0	0	1	—	—
計	19	0	0	0	2	17	—	—

(3) 居住地別状況 (平成27年3月31日現在)

性別	現数	中区	東区	西区	南区	安北	安南	安芸	佐伯	廿市	府中	東広島	安芸高
男	18	1	3	4	6	0	1	1	1	0	1	0	0
女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	19	2	3	4	6	0	1	1	1	0	1	0	0

(4) 障害程度区分

非該当 0人
 区分1 1人
 区分2 5人
 区分3 2人
 区分4 1人
 区分5 0人
 区分6 0人
 未判定 10人

2 就労支援の状況

(1) 支援体制、作業内容

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

A 型指導員	サービス管理責任者 (1) 職業指導員 (1) 生活支援員 (1)			
作業内容	広島市清掃委託業務に従事			
業務履行場所 (担当課)	平和大通り (中区役所)	高天原墓園 (東区役所)	比治山公園 (南区役所)	広島市総合リハビリテーシ ョンセンター敷地 (広島市病院事業管理者)
利用者数	9		9	1
現場指導員	1		2	2

(2) 勤務時間・報酬

ア 勤務時間 1日4時間

【午前の勤務】 8:30~12:30

【午後の勤務】 13:15~17:15 のいずれかに従事。

イ 報酬 最低賃金を保障する。

時給 733円(4月1日~9月30日) 750円(10月1日~3月31日)

(733×4×19=58,640 750×4×19=60,000)

4月~9月

支給賃金総額(円) A	利用者数 B	労働月数 C	A ÷ B ÷ C (円)
7,182,255	19人	6	63,002

10月~3月

支給賃金総額(円) A	利用者数 B	労働月数 C	A ÷ B ÷ C (円)
7,385,936	19人	6	64,788

(3) 通勤方法 業務履行場所へ自力で通勤する。(交通費支給)

(4) 勤務の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
出席												
要出席日数 A	21	19	21	22	18	20	22	18	19	19	19	22
在籍数 B	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
A × B = C	399	361	399	418	342	380	418	342	361	361	361	418
出勤数計 D	386	339	371	365	319	349	395	328	332	339	333	390
出席率 D/C	97%	94%	93%	87%	93%	92%	94%	96%	92%	94%	92%	93%
H26 出席率	93%											
H25 出席率	98%											
H24 出席率	96%											

(5) 就労の状況

H26年度は、一般就労はいなかった。

(6) 入退所の状況

H26年度は、入退所した人はいなかった。

3 業務履行状況

仕様書に基づき業務を履行し、月毎の報告を行い、担当課の確認を受けた。

4 健康診断

広島作業所に集合し、2回行った。(バスによる送迎を行った)

5 課題

- (1) 業務履行場所が作業所から離れている。スタッフ間の連携をより緊密に行うこと。
- (2) 個別の支援計画に基づき利用者の支援をより効果的に行うこと。
- (3) 職業指導員、生活支援員、現場補助員への指導・支援。
- (4) 就労への動機付け、機会の提供。

III 八幡事業所B

1 主体性・協調性を高める支援

- (1) 利用者が主体性を感じながら作業及び余暇活動を行うよう支援を行う。
- (2) 利用者の力が最も活かされる作業を選ぶ事と同時に、利用者の意向をくんで、自身で主体的に選ぶ工程を支援する。
- (3) 作業において利用者の得手、不得手を他の利用者と共働することでお互いに補い合い作業効率を上げるとともに、利用者同士の結束や協調性を高めるよう支援を行う。

2 作業

- (1) ゴム(自動車部品)の加工 (バリとり、中抜き)
- (2) 缶つぶし
- (3) 西広島タイムス配布・広告折り込み

3 作業収入

年度		H 2 6	H 2 5	H 2 4	H 2 3
収入		388,544	361,839 円	407,323 円	412,715 円
支 出	経費 (消費税含む)	3,044	18,000 円	27,523 円	27,423 円
	工賃	385,500	343,839 円	379,800 円	385,292 円
工賃/月・人		3,472	3,183 円	3,478 円	3,380 円

4 地域交流（行事への参加）

- (1) ナイスハート運動会参加（5月）
- (2) 八幡学区地域盆踊り大会出店（8月）
- (3) 育成会祭り参加（9月）
- (4) 佐伯区民祭出店（11月）
- (5) 廿日市特別支援学校「はつよう祭り」出店（11月）

5 運営委員会（広島作業所と合同・拡大運営委員会）

6 家族会

- (1) 開催日 毎月最終 月曜日
- (2) 内容 行事確認、利用者状況報告、懇談（課題協議）

7 通所者状況

（平成27年 3月 31日現在）

【療育手帳】

性別	㊤	A	㊦	B
男（5名）	0	4	0	1
女（3名）	1	1	1	0

【年齢層】

年齢	10代	20代	30代	40代	50代
人数	1	2	3	1	1

【住居】

地域	佐伯区	西区
人数	4	0

【通所年数】

年数	1	3	4	5	7	13	14
人数	1	1	1	2	1	1	1

8 通所状況

出席 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要出席日数	21	20	20	22	14	20	22	19	18	19	19	16
在籍人数	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	8
総出席数A	191	181	180	201	119	169	186	162	151	161	160	122
実出席数B	145	129	146	133	72	117	134	111	107	118	115	92
出席率B/A	76%	71%	81%	66%	60%	69%	72%	69%	71%	73%	72%	75%

IV サービス向上受付

(1) 作業所の利用に関して

- ① 利用者の出席人数について
- ② 交通費助成の委任状の扱いについて
- ③ 服の臭いと汚れについて
- ④ 食事の量について

(2) 心身障害者スポーツセンター 清掃

- ① 館内のワックスがけの仕上がりについて。

V 課題

- (1) H26. 8. 20 広島市で安佐北区安佐南で、大規模土砂災害が発生し多数の死傷者が出た。八幡作業所が土砂災害特別警戒区域にあるため、安全優先し広島作業所に移動した。続けて新館工事が予定されており工事期間中の利用者の安全を確保する。
- (2) 高齢保護者の世帯やグループホームの単身の利用者支援について他の相談機関等と連携する機会を増やしていく必要がある。
- (3) 加齢に伴い、通勤力が低下した利用者への対応。
- (4) 個々の生活力に応じた生活介護・就労継続支援事業の利用について検討。

平成 26 年度広島市就労支援センター事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日)

I. 事業目的

広島市内の就労支援施設等における仕事の受注拡大や製品の販路開拓・新商品の開発等を図り、それらの施設における事業を振興し、施設利用者の「社会参加と自立」を支援、促進する

II. 事業内容

1. 販路開拓・新商品の開発

(ア) 製品展示即売会の開催・参加

- 4 月：スケート感謝祭 (4/20、4 事業所)、中央メーデー (4/26、11 事業所)、横川ふしぎ市 (4/27、3 事業所)
- 5 月：フラワーフェスティバル・ふれあい広場 (5/3～5、22 事業所)、市役所販売開始 (5 月～3 月、14 事業所)
- 6 月：安佐北区役所販売開始 (6/3～3 月末：7 事業所)
- 9 月：育成会まつり (9/21：4 事業所)
- 10 月：広島市スポレク大会 (10/12：5 事業所)、秋のグリーンフェア (10/4～13、7 事業所)、神田山荘フェスタ (10/5：3 事業所)
- 11 月：ビッグウェーブ開場祭 (11/3：5 事業所)、西区民まつり (11/2：3 事業所)、広島総合教育専門学校祭
- 12 月：セルフフェア (12/4～16：25 事業所)、広商デパート (12/13～14：18 事業所納品)、第 10 回広響と障害者のジョイントコンサート (12/28：10 事業所)
- 1 月：僕らのアトリエ IN アステール (市教育委員会と共催、1/22～24：10 事業所)
- 損保ジャパン日本興亜社員食堂販売 (1/27～30：8 事業所)
- 毎月販売：イオンモール祇園店 (第 3 火曜日：9 事業所)、ユアーズ各店舗 (7 事業所)
- その他：NHK 共済会 (3 事業所)、NTT 駅伝綱引き大会 (1 事業所) 等

(イ) 生協、販売店、新規開発店舗などへの訪問を行い、営業担当による販売拡大を強化する。

- 市・外郭団体、民間団体、個人、企業からの受注を強め、各事業所と連絡・調整
- 安佐動物公園、レストハウス、植物公園、ローソン (広島市民病院)、光洋 (土屋病院・中電病院)、舟入病院・平和資料館売店あおぎり (広島市寡婦母子福祉連合会) 神田山荘、宮浜グランドホテル、いなだ屋、アステールプラザ (レストラン ラコントロール)、広島森林公園、メルパルク広島、現代美術館等への継続訪問
- カープクッキー：広島東洋カープ
- 文化シャッター
- 広島市 雇用推進課・障害福祉課：市長表彰記念品、家庭推進課
- 障害者優先調達推進法に基づく官公需の拡大

2. 研修強化・情報収集及び提供

(ア) 事業所訪問を積極的に行い、情報収集および情報提供

(イ) 製品カタログのリニューアル⇒食品と手芸品等に分けたカタログを作成

(ウ) 「センター通信」のリニューアル (事業活性化のための情報の収集と提供)、

(エ) クッキー教室 Part 2 (2 回実施、7 事業所参加) - 共催：千羽鶴未来プロジェクト

(オ) FF ふれあい広場「広島市就労支援センターコーナー」で事業所の PR

(カ) 会 議

- 就労支援センター運営協議会(5月前年度の決算、行事実施報告、3月次年度の予算、事業計画案)
- 運営協議会 部会(月1回):センター実施計画への助言、「センター通信」編集
- 広島市心身障害者福祉基金(尾崎基金)管理運営委員会(6月、3月)
- 尾崎基金による助成金の審査会(6月)
- 広島市手をつなぐ育成会理事会・評議委員会
- 広島ふれあい委員会:「ひろしまフラワーフェスティバル:ふれあいの広場」と「マーガレットコンサート」事業を受託する委員会になる(3月)
- ふれあいの広場・マーガレットコンサート各実行委員会
- 千羽鶴再生ファクトリー構想実施状況報告会
9/3:第3期開始前の会合:障害自立支援課長、被爆体験継承担当課長、千羽鶴未来プロジェクト代表理事、本田春荘商店専務等参加、参加事業所30事業所⇒千羽鶴再生ファクトリー構想実現に向けて⇒被爆70周年記念事業:折り鶴ポストカードの配付

3. 下請け作業の斡旋及び調整

(ア) 公平な情報提供と調整のため、事業所ごとの可能作業量の把握と適正な工賃の確保

(イ) 年間を通じて安定的・継続的にできる仕事の確保

(ウ) 単価のよい内職・下請け作業の開拓

- 下 請…株式会社ヤマサキ(31事業所)、トラスト(6事業所)、アークライン(9事業所)等
- 季節物…糸通し、燈籠づくり、正月かざり(大下大松園ほか)等
- カーバッテリーカバー(アスタック株式会社)等恒常的作業の確保
- 新規
ハイランドハウス:袋詰め(1事業所)
宮原産業:ビニール袋カット(1事業所⇒中断)
トミヒロ:ベルト縫製(3事業所)、ペンケース(3事業所)
ミヤケタグソリューション:タグ(2事業所)、品川工業:金物ボルト締め(2事業所)
松田製袋:封詰め等(4事業所)、タイムコーポレーション:金具留め(6事業所)
ウイズユウ:女性ものパジャマ仕上げ(2事業所)、男性ものパジャマ(1事業所)

4. 関係機関、団体との行動連携

(ア) 健康福祉局障害自立支援課・障害福祉課、精神保健福祉課、高齢福祉課、特別支援教育課、雇用推進課、保健医療課、家庭支援課等

(イ) 各区社会福祉協議会

(ウ) 広島県就労振興センター…セルプフェア、ふれ愛プラザ

(エ) 広島市心身障害者福祉センター…福祉基金助成事業

(オ) 手をつなぐ育成会…市就労支援センターへの支援

(カ) 中小企業支援センター、セールスレップ協会広島支部

(キ) 広島東洋カーブ

(ク) 生協広島

(ケ) NPO 法人千羽鶴未来プロジェクト

5. 全体研修会

「ブラッシュアップ勉強会」全3回

第1回 6月30日「紙製品」

第2回 10月15日「布製小物」Ⅰ

第3回 1月27日「布製小物」Ⅱ

講師 吉清有三 氏 (第2、3回 アドバイザー 難波典子 氏)

(延 16 事業所 19 名参加)

6. 平成 26 年度 その他の関連事業報告書—心身障害者福祉基金（尾崎基金）に係る事業

(ア) 就労支援施設等機能強化事業(継続)

① 目的

広島市における心身障害者の福祉向上をめざし、心身障害者の自立と社会参加の促進に必要な福祉サービスの充実を図る。

② 支出額 890,000 円 (18 事業所)

③ 実施期間 平成 26 年 7 月 31 日～平成 27 年 3 月 1 日

④ 内容

新商品開発に係る備品の購入、作業の効率・効率向上に係る備品の購入
作業の安全・衛生に係る備品の購入、ITに係る備品の購入等々

(イ) 販路開拓・技術支援事業(継続)

① 目的

販路の開拓や新商品の開発・商品の見直し等を通して、利用者の工賃の増額に寄与する。

② 実施期間 平成 26 年 7 月 31 日～平成 27 年 3 月 1 日

③ 支出額 400,000 円

④ 内容

2名の専門家（新居敏春 氏、加藤秀樹 氏）を4事業所（ふなき福祉園、Cross Road、トムハウス、光清学園）へ派遣し、販路開拓及び新商品の開発や商品の見直し等の支援を行う。

⑤ 全体研修会 平成 27 年 2 月 24 日

上記の事業所より成果と課題について発表

専門家によるアドバイスと参加者との意見交換